



## 未利用資源から創る健康の未来

カクイ株式会社

研究開発担当取締役 黒木 修

弊社は鹿児島に根ざし、長年脱脂綿をはじめとする繊維製品や産業資材の製造・開発に取り組んできました。創業以来、私たちが大切にしてきたのは、確かな技術で社会の期待に応えることです。しかし、社会構造の変化やニーズの多様化を踏まえると、既存領域に留まるだけでは持続的な成長は望めません。そこで、次世代事業の柱として着目したのが、未利用資源の有効活用と健康をキーワードとした機能性糖類セロビオース(カクイセロビオ)事業です。この革新的な挑戦こそが、地域社会へ貢献する新しい一歩になると考えます。

セロビオースは、植物の主成分であるセルロースから得られる二糖類であり、優れたプレバイオティクス機能を有しています。最大の特徴は、ヒトの消化酵素では分解されにくく、大腸まで届き、善玉菌の代表格である酪酸菌やビフィズス菌を活性化させる点にあります。具体的には、腸内環境を整えて排便習慣の改善に寄与するほか、短鎖脂肪酸の産生を促進し、免疫機能の維持や血糖値上昇の抑制など、多角的な健康維持への貢献が期待されています。人々の健康意識が高まる中、日々の食事においても「より身体に良いものを選ぶ」という価値観が定着しつつあります。一方で、健康上の理由から食事制限を余儀なくされている方も少なくありません。私たちの願いは、セロビオースを広く普及させることで、誰もが「我慢することなく」健康を維持し、生涯にわたり食を楽しめる世界を実現することです。この「健康志向」への転換こそが、弊社の新たな使命であると考えています。

99%以上の高純度セロビオースを安定生産する技術の確立には、多くの困難が伴いました。特に、高度な成分分析や国際基準への適合においては、

自社のみの知見では限界が生じる場面も少なくありませんでした。こうした課題を乗り越える上で、大きな支えとなったのが鹿児島県工業技術センターとの連携です。同センターには長年にわたり、品質向上や技術的課題の解決において多大なるご支援を頂いて参りました。今回のプロジェクトにおいても、研究段階の試験から量産化に向けたスケールアップまで、専門的な助言や分析を頂いています。外部の知見を積極的に取り入れる協働の姿勢こそが、開発スピードを加速させ、製品の信頼性を高める鍵となりました。客観的な評価に基づき一つ一つ課題を克服していく経験は、弊社にとって大きな成長の原動力となっています。

現在、弊社は国際特許の取得を進めるなど、グローバル市場展開も視野に入れています。また、社内においてもデジタルツールの活用や分析環境の整備を推進し、より迅速かつ精密なものづくり体制の構築を進めています。「いつまでも幸せに食を楽しむ世界」の実現は果てしない挑戦ではありますが、お客様第一の姿勢を貫きながら、着実に前進して参ります。自社の強みを磨き、パートナーとの連携を深めながら、真に喜ばれる製品を鹿児島から世界へ発信していく所存です。工業技術センターをはじめとする地域の支えを力に変え、健康寿命の延伸と地域産業の発展に貢献して参ります。



セロビオース(カクイセロビオ®)